

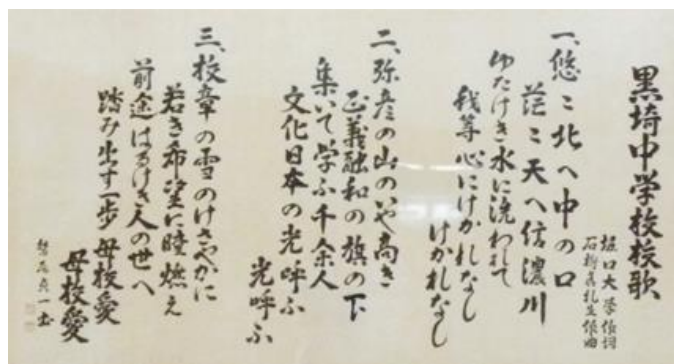
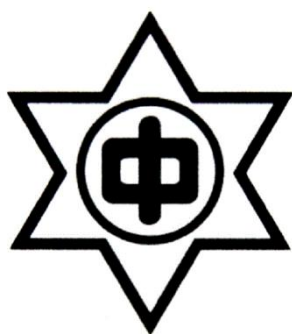
く クラスの仲間と支え合う生徒	ろ 論理的に考え協同して学ぶ生徒
黒中だより 新潟市立黒崎中学校 第2号 令和7年5月12日発行 http://www.kurosaki-j.city-niigata.ed.jp/	
さ さわやかにあいさつを交わす生徒	き 気力・体力の充実した生徒

「伝統を受け継ぎ・次世代へ繋ぐ」

校長 大橋 正治

5月15日(木)は79回目の創立記念日です。この黒崎中学校が誕生して約80年近く経ち、その間に22,255人の卒業生を輩出してきました。そして来年度は創立80周年を迎えます。

黒崎中学校は戦後の学制改革に伴い、昭和22年4月1日に設置され、同年5月15日に開校されたと記録に残されています。その後、学校のシンボルである「校章」や「校歌」が制定され、さらに学び舎となる校舎が建設されました。また年月が進むにつれ、校舎の増築、プール、体育館、武道場等の施設の整備、校舎改修耐震工事が進められ、現在に至っています。



校 章	校 歌
・三角形の2つの交差的な姿は、天と地、山と川を意味し、校歌1番に中ノ口川と信濃川、校歌2番に弥彦山が歌われている。(図1) ・六角形的形象は、雪の結晶を模し、新潟県の象徴であり、校歌3番に「校章の雪」と入っている。(図2) ・六角の頂点は、知・善・体・美・徳・真の人間教育を意味しており、同時に当時の小学校5校と黒崎中学校を表している。(図3) → 当時の小学校は、大野小、山田小、黒崎南小の前身である木場小、板井小、黒鳥小の5校です。立仏小は、昭和48年に山田小と分離したので当時はありません。 ・中央の円は和の心、則ち二宮尊徳翁の心「一円融合」の精神を表している。校歌2番に「正義融和」と歌っている。(図4)	創立5周年記念式典(昭和26年11月3日)が行われた際、校旗とともに発表。 ・作詞：堀口 大學(ほりぐち だいがく)さん → 日本芸術院会員、文化功労者、文化勲章受章者 → 新潟高等学校、白根第一中学校の校歌がある ・作曲：石桁 真礼生(いしけた まれお)さん → 東京藝術大学講師、作曲科教授、音楽学部長 → 三条大島中学校、長岡三島中学校の校歌がある ・揮毫：鷲尾 貞一(わしお さだいち)さん → 黒鳥出身、新潟県土地改良区の連合会長や農林水産省の各種委員等を務められた ・額縁：第28回(昭和49年)卒業生寄贈

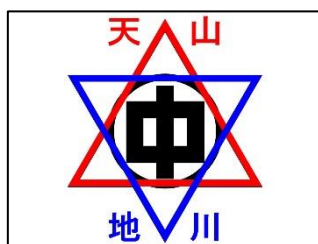


図1



図2

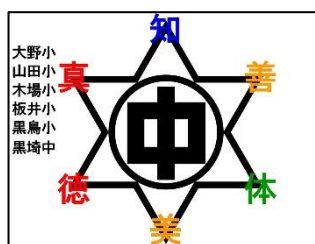


図3



図4

せっかくの機会なので「校章」や「校歌」と合わせて、黒埼中学校の伝統として受け継がれてきた「黒中憲章」と「黒中節」についても紹介します。

黒中憲章	黒 中 節
・平成5年度「今、改革の時、黒中新時代の幕開け」のスローガンの下、当時の生徒会本部を中心に生徒自らが黒中を良くしようと話し合わせ、「黒埼中学校生徒憲章」として制定された。 【憲章】 わたしたち黒中生は、自己を高め、よりよい伝統を築くために、次のことをお互いに約束し合い、実行します。 1 自分を大切にし、他人を認め、思いやることのできる人になろう。 2 集団生活に必要なルールを、進んで実行できる人になろう。 3 目的や場にふさわしい、服装や、身だしなみのできる人になろう。 4 仲間と協力したり、人に奉仕する心を持つ人になろう。 5 自分の願いや、目標が達成されるよう、日々、努力をおしまない人になろう。 6 共に求め合い、自分たちの手で創意工夫し、活気ある生徒会を創っていこう。 (平成5年9月1日制定)	・それまで専門員会の一つにすぎず、全体的に低調でマンネリ気味だった応援団を、平成16年10月、元中央大学応援団長の高倉 榮さん(弥彦村在住)にお願いして、応援歌「黒中節」を作った。 → 校歌の振り付け、三三七拍子、第1・第2応援歌の振り付け等の作成も依頼 ・「黒中節」は大学の応援歌をもとに作り、振り付けも衣装も本格的に揃え、歌と振り付けは高倉さんから直々に指導を受け、紋付き袴、高下駄姿の応援団長が誕生した。 ・和太鼓は卒業記念品、紋付き袴は地域の方から寄贈いただいた。 ・平成17年4月の入学式で初披露した。保護者や来賓の感想に「素晴らしい応援だった。応援団長は凛々しかった。応援リーダーはカッコよかった。」というお褒めの言葉をたくさんいただいた。 ・「黒中節」は選手激励会、入学式、卒業式、運動会のほか、地域の祭りや行事にも参加するなど活躍の場を広げていった。 (平成21年 第18代校長 長澤 宗英)

このように長い年月の中で生み出された「校章」「校歌」「黒中憲章」「黒中節」の背景を知ること、今を生きる私たちが取り組むべきこと、目指すことが見えてくるのではないのでしょうか。

伝統は先輩から受け継ぎ、それを後輩へしっかりと繋ぐことが、今、中学生である黒中生一人一人に課せられた責務だと思います。来る80年目の節目の年に向けて、今年度の黒中生一人一人の取組が試されています。より良い黒埼中学校を、みんなの力で作り上げていきましょう。



【自分の学びを深める】

5月29日(木)30日(金)に、今年度最初の定期テスト(前期中間テスト)が近づいてきました。中学校卒業後を見据えて、自分の可能性を広げていくためにも、今現在の学びを大切にしてください。学びは日々の「授業」と「家庭学習」の2本柱からなり、どちらかが疎かになっていては定着しません。この2つの柱を取り組むことが、学力の向上につながります。



人間の脳は元々、忘れるようにできています。しかし、繰り返し刺激(反復練習)したり、関連付けをしたり、自分なりに考えを深める(思考する)ことで、学んだこと(知識・技能)は定着していきます。つまり、学びを深めていくことは大切です。

分からなかったことが分かるようになると、不思議と学ぶことが面白くなります。ぜひ、「授業」と「家庭学習」で自分自身の学びを深めてください。人生一生涯、学びの連続です。自分の夢に向かって、一人一人、学びを深めていくことを期待しています。

☆しっかりと準備をして定期テストに臨もう！